

令和2年度第1回千曲市歴史的風致維持向上協議会概要

- 開催方法 書面形式（書面開催）
- 審議の期間 令和2年7月31日（金）から令和2年8月31日（月）まで

委員の方々からの意見等、それに対する市の考え方は、次のとおりです。

1 報告事項

令和元年度進行管理・評価シートについて【資料No.1】

No.	頁	事業項目	意見等(原文のまま)	意見等に対する市の考え方	担当課
1	11	歴史資源調査活用事業	稲荷山城跡の調査について、昨年度の具体的内容が記載がない。特に調査地点の候補地選定や地権者・・・地籍図などについての作業の進捗状態を具体的に記述してほしい。 大門試掘調査の記述はそのままいかしてほしい。	令和元年度の松田家大門の発掘調査は、稲荷山城跡の調査の一環で行った事業になりますのでご理解をお願いいたします。	歴史文化財センター
2	14	文化財の修理、整備等について	国指定等文化財がき損したときは、文化財保護法により、定められた期間内に届出が必要となります。令和元年度東日本台風による文化財被害については、必要な届出を行うよう(指導者に指導するよう)市文化財担当に依頼をしましたが、現段階で提出されていないため、至急提出をお願いしたい。	文化財の所有者と調整のうえ、速やかに届出を行います。	歴史文化財センター

2 協議事項

(1)令和2年度事業計画について【資料No.2】

No.	頁	事業項目	意見等(原文のまま)	意見等に対する市の考え方	担当課
1	14	歴史資源調査活用事業	更級郡衙調査と、稲荷山城調査が継続事業なので、今年分を両方を併記する必要がある。特に地籍調査や地名調査などでは、更埴を知る会など民間活力の導入も計画しないと歴史センターでは戦力不足ではないか。	稲荷山城跡の調査は継続して取り組むこととしておりますが、令和4年度までは更級郡衙の調査に軸足を移して事業を進めて参ります。調査に当たっては、ご意見のとおり、関係団体に協力をお願いしたいと考えております。	歴史文化財センター
2	15	歴史文化発信事業	日本遺産の月の都と主屋の復原事業が、密接に連動していること、主屋復元工事が、市民の博物館づくりであり、展示計画案の立案にも、市民参加で進行するべきであることなどを事業として組み入れてほしい。	松田家主屋は令和4年度の一般公開を目指して、今年度、修理工事に着手しました。展示計画立案への市民参加については、今後、検討したいと考えております。	歴史文化財センター
3	-	-	概 順調に進行管理がなされていると思われる。唯 地域における特に子供達への教育というか知らしめる事が出来ないだろうか(地域の歴史的な生いたち)	小中学校へへの出前講座を通して、郷土学習や歴史文化の発信に努めて参ります。	歴史文化財センター
4	-	-	予算の問題もあるが、建物修復件数の増加を望む。早目の整備により観光に資するものとして利用を早くできればと思う。	引き続き、歴史的建造物等の所有者に補助制度を周知するなどして、修理・修景事業の推進を図って参ります。 また、市においては、松田家の一般公開を早期に実施できるよう取り組んで参ります。	歴史文化財センター

(2)令和2年度スケジュールについて【資料No.3】

No.	区分等	意見等(原文のまま)	意見等に対する市の考え方	担当課
1	-	前述しましたが、早い整備が他地域に対する競争力となります。目に見える計画の整備を願うものです。	ご意見のとおりでありますので、引き続き、計画的に事業を進めて参ります。	歴史文化財センター